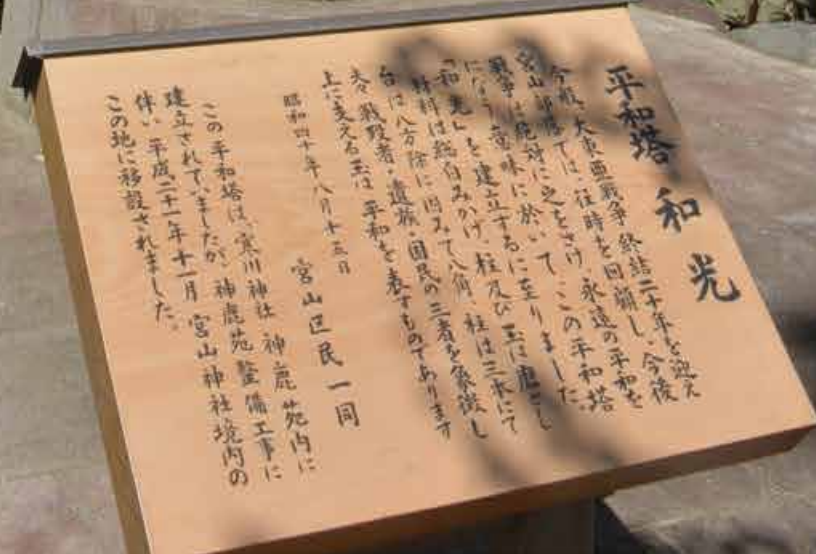


www.samukawajinja.jp



第522号
令和2年10月1日

- 2 寒川神社 社務報告
- 4 令和2年例祭斎行
- 5 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名
- 6 例祭献灯者芳名
- 7 寒川神社商工奉賛会ご案内
- 8 祝七五三詣
- 9 第53回 寒川神社菊花写真展開催
- 10 相模秋の歌・人事
- 11 病院だより・ニューヨーク見聞録**最終回**
- 12 10月～12月 祭典・行事のご案内



【表紙】
宮山神社 境内
平和塔「和光」

【題字】
神社本庁 総長
田中恒清



神嶽山神苑

9:00～16:00
毎週月曜日は休苑（祝祭日は開苑）

神嶽山神苑への入苑は御祈禱を受けた方に限ります。

神苑で大明神様との御神縁を深めましょう

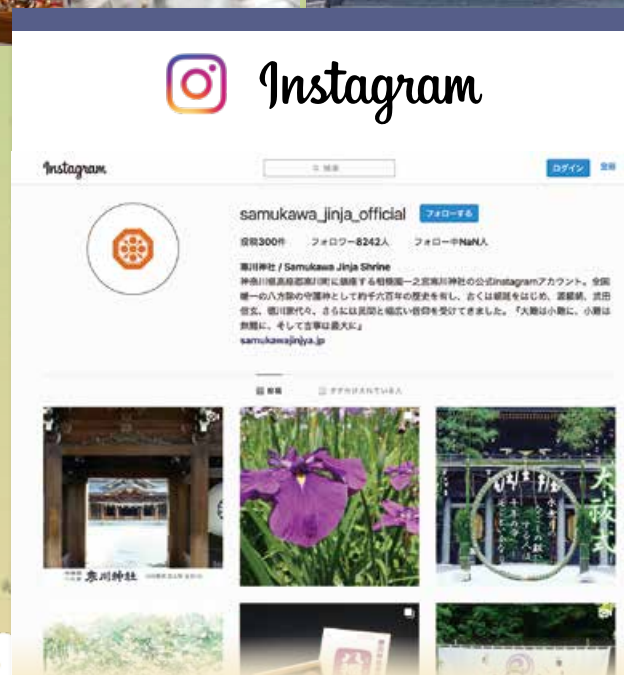
神苑内では茶屋「和楽亭」にて抹茶と和菓子をお楽しみいただけます。（500円より思召し）

石舞台にて神楽舞と雅楽を奉奏致します。
10月4日（日）・11日（日）・18日（日） 午前11時・午後2時
11月以降の予定はホームページにてお知らせ致します。
本年は12月13日にて閉苑となります。



寒川神社

【公式SNS】

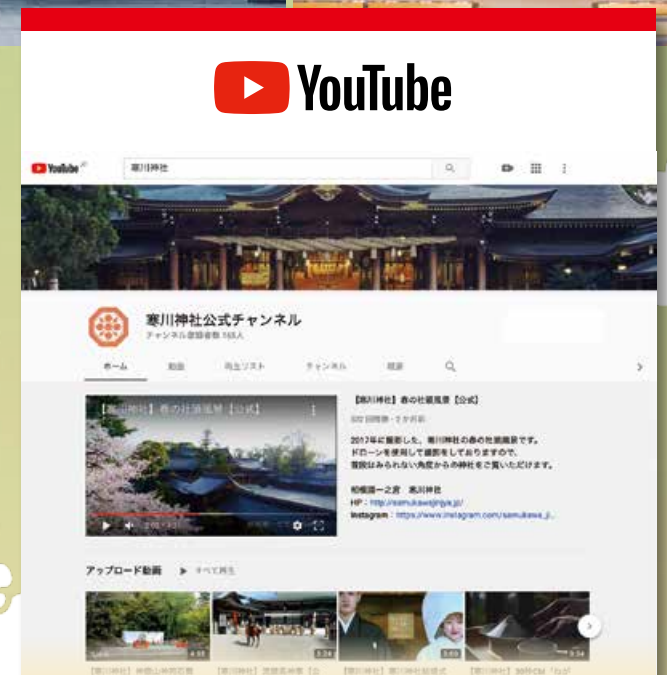


公式Instagram
samukawa_jinja_official



当神社の四季折々の様子などを発信しています。皆様のフォローをお願いします。また、個人で神社の写真をアップされる際は「#寒川神社」をつけてください。

※御本殿内・授与所の撮影はご遠慮ください



公式チャンネル



当神社の祭事のほか、貴重な資料などを定期的に更新しています。皆様のチャンネル登録をお願いします。



寒社川務神報社告

虫送り祭

丹精込めた田畑の作物を虫害や天災から守り、その年の農作物の豊作を祈念する虫送り祭が7月24日午前10時より斎行されました。

「虫送り」は古くより農村部を中心に全国各地で行われてきた日本の伝統行事であり、地域によって様々な名称や形式で行われてきましたが、農薬の普及などから徐々に行われなくなり、その様子を知らない人も少なくなっていました。伝統を継承することも神社の大切な役目であり、本年も町内の農業関係の皆様にご参列いただき、秋の豊作を祈念致しました。

夏季華道研修会

8月4日・5日の2日間に亘り、夏季華道研修会が開催され、当神社の巫女18名が受講しました。四季折々の草花などを花器に挿し、美しさや命の尊さについて学びました。今春採用の巫女は初めての生け花となり、試行錯誤を繰り返しながら研修会を受講したことで、生け花の技術の向上を図るとともに心身ともに成長することができました。

浜降祭奉告祭

7月23日(海の日)午前10時より浜降祭奉告祭が斎行されました。

湘南地方に本格的な夏の到来を告げる浜降祭は、毎年海の日に茅ヶ崎市南湖の浜にて約40基の神輿が集まり斎行されておりますが、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大に収束の兆しが見えないことから、神輿渡御と浜での祭事の一切が中止となりました。

奉告祭では、浜降祭に所縁のある植物「ハマゴウ(浜祭典では当神社の神輿の褥となる)」をお供えした上で、御旅所神主 鈴木孫七氏をはじめ関係各位のご参列の下、感染症の早期収束と来年の浜降祭が盛大に執り行えるよう祈念されました。

また境内には、町内の園児が製作した「ダンボール神輿」が例年と変わらず展示されました。中には「アマビエ」がデザインされたものもあり、子供たちも感染症の現実と真剣に向き合いながら製作してくれました。祭りに対する「想い」と「輪」が次世代へと継承されることを期待します。

祭典・行事のご報告

- 7月
 - 15日 浜降古式祭
 - 20日 客殿改修工事清祓
 - 23日 浜降祭奉告祭
 - 24日 虫送り祭
- 8月
 - 4・5日 夏季華道研修会
 - 15日 平和祈願祭
- 9月
 - 1日 寒川神社全総代会
 - 18日 企画展示「疫病と信仰」(～10月18日)
 - 19日 商工祈願祭並献灯奉告祭
 - 例祭宵宮祭
 - 流鏝馬神事

平和祈願祭

終戦記念日の8月15日正午より、末社宮山神社境内の平和塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。

平和塔「和光」は昭和40年に戦後20年の節目として、永遠なる平和を誓い、宮山住人の総意により当神社境内神鹿苑内に建立されたものです。「和光」の揮毫は、当時神宮大宮司としてご奉仕されておりました坊城俊良氏によるものであり、台は八方除にちなみ八角、柱は3本(戦没者・遺族・国民を象徴)、上の玉は平和を表しています。平成21年に現在の場所へ移され、今日に至ります。

当日は、当神社責任役員、正副総代長、宮山自治会役員にご参列いただき、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界の恒久平和が祈念されました。

全総代会

9月1日、日頃より神社の運営にご尽力をいただいている当神社の総代によって構成される全総代会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地区ごとの総代の出席数を限定して、一定の距離を保ちながら、ご出席いただきました。年間祭事や令和元年度の決算、青少年育成活動など社務全般の報告がなされ、ご承認いただきました。

お詫び

前号(社報52号)にて、当方の手違いにより、「訃報」の掲載に際し中島賢太郎様の逝去日を誤って掲載しておりました。正しくは5月4日となります。また、「新型コロナウイルス感染症」に関する「報告」内の医療支援物資等の奉納者の掲載に際し当方の手違いにより、(株)長谷川製作所様のご芳名に誤植がございました。衷心よりお詫び申し上げますとともに謹んで訂正致します。



9月18日より10月18日まで、当神社客殿1階にて「疫病と信仰」と題した特別展示を実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、穏やかな日常への先行きが見通せず、不安な日々をお過ごしのことと思います。この展示では、日本における疫病の歴史を振り返り、疫病が蔓延した時代に神社が行ってきた臨時祭祀や大祓などを解説、展示しています。また当神社の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みもご案内しておりますので、ご参拝の際は是非お立ち寄りください。

企画展示「疫病と信仰」

9月18日より10月18日まで、当神社客殿1階にて「疫病と信仰」と題した特別展示を実施しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、穏やかな日常への先行きが見通せず、不安な日々をお過ごしのことと思います。この展示では、日本における疫病の歴史を振り返り、疫病が蔓延した時代に神社が行ってきた臨時祭祀や大祓などを解説、展示しています。また当神社の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みもご案内しておりますので、ご参拝の際は是非お立ち寄りください。



浜降祭奉告祭



浜降祭奉告祭(鈴木孫七氏参拝)



浜降祭奉告祭(ハマゴウのお供え)



浜降祭奉告祭



ダンボール神輿



虫送り祭



平和祈願祭



華道研修会



華道研修会



全総代会



企画展示「疫病と信仰」

〔宮山〕	
下	佐藤登幾 殿外 67名 七二、〇〇〇円
根岸(上)	野口 正行 殿外 20名 二九、〇〇〇円
根岸(中)	綱木 義明 殿外 8名 九、〇〇〇円
根岸(下)	酒井 文雄 殿外 24名 二九、〇〇〇円
オリブの丘	鈴木 幸伸 殿外 5名 七、〇〇〇円
旭(東)	宇田川 一樹 殿外 17名 一八、〇〇〇円
旭(西)	阿部 仁 殿外 11名 一五、〇〇〇円
上合	植木 宏和 殿外 21名 二四、〇〇〇円
中里(上)	杉本 有亮 殿外 29名 七九、〇〇〇円
中里(下)	宮脇 岩雄 殿外 27名 六九、〇〇〇円
中里(河原)	蓮見 史仁 殿外 16名 二二、〇〇〇円
中里(サザン)	廣瀬 勝政 殿外 5名 八、〇〇〇円
馬場	四ツ子義孝 殿外 26名 二七、〇〇〇円
雷	関根 昌実 殿外 18名 一九、〇〇〇円
宮山南	高橋 文夫 殿外 11名 二九、〇〇〇円
〔一之宮〕	
火の見下	宮治さち子 殿外 9名 一一、〇〇〇円
中台畑	本郷 正明 殿 二、〇〇〇円
仲町1	小泉 重男 殿外 5名 六、〇〇〇円
西町西1	川崎 達男 殿外 17名 一八、〇〇〇円
西町西2B	谷島 俊郎 殿 五、〇〇〇円



なお、本年の例祭の模様はホームページにおいて公開予定となっておりますのでご覧ください。



新道	村田	富雄殿外2名	三、〇〇〇円
宿1	横溝	吉香殿外7名	八、〇〇〇円
宿2	鳥海	芳江殿外7名	八、〇〇〇円
宿4	関	英明殿	三、〇〇〇円
東3・5B	北爪	正徳殿外7名	八、〇〇〇円
東6	石黒	雅昭殿	一、〇〇〇円
東7	中島	新一殿外9名	一〇、〇〇〇円
小町屋1〜3	高橋	博殿外16名	一八、〇〇〇円
仲町2	熊谷	貢殿外4名	五、〇〇〇円
目久尻	福田	圭治殿	五、〇〇〇円
根下	二ノ宮雅一	殿外1名	一〇、〇〇〇円
〔西岡田〕			
久保地	内藤	一三殿外7名	二四、〇〇〇円
仲町	三澤	芳彦殿外8名	一八、〇〇〇円
上町	佐藤	嗣雄殿外4名	五、〇〇〇円
仲町原	倉持	十士殿外3名	四、〇〇〇円
上町・下町	三留	勝弥殿外9名	一〇、〇〇〇円
〔岡田新町〕			
南駅前通	三堀	昇殿外1名	六、〇〇〇円
東通	内野	広志殿	一、〇〇〇円
南2	金澤	純一殿	四、〇〇〇円
〔小倉〕			
原1	藤井喜代治	殿外3名	九、〇〇〇円
東1	三澤	敬機殿外1名	三、〇〇〇円
〔大蔵〕			
入町	門倉	敏明殿外4名	五、〇〇〇円
〔倉見〕			
大村(東1)	神崎	嘉己殿外6名	七、〇〇〇円
大村(西1)	田代	満殿外9名	一七、〇〇〇円
大村(西2)	佐藤	広行殿外13名	一八、〇〇〇円
才戸(東)	月井	徹哉殿外11名	一三、〇〇〇円
才戸(西)	島田	敏樹殿外16名	一九、〇〇〇円
才戸(南)	木寺	楨殿外5名	八、〇〇〇円
原(南)	田村	勝殿外9名	一九、〇〇〇円
原(北)	落岩	伸浩殿外3名	四、〇〇〇円
士(天)(南)	藤澤	論殿	一、〇〇〇円
士(天)(北)	北村	進殿外6名	七、〇〇〇円
入町・新町	山口	直久殿外10名	一一、〇〇〇円
南町	山田	洋立殿外11名	一二、〇〇〇円
西町	川上	勇治殿外14名	一五、〇〇〇円
川端(東)	亀山	邦男殿外6名	七、〇〇〇円
川端(西)	花井	純一殿外12名	一三、〇〇〇円
桜町(上)	繁田	善治殿	一、〇〇〇円
桜町(下)	石川	三郎殿外1名	四、〇〇〇円
士(天)(第二)	立山	三男殿外8名	九、〇〇〇円
〔大曲〕			
大曲	中村	光良殿外17名	二七、〇〇〇円
〔田端〕			
東町	吉澤	喜作殿外13名	一四、〇〇〇円
宿町	大柳	孝好殿外26名	二七、〇〇〇円
西町	木内	三男殿外52名	五三、〇〇〇円
神之倉	大川	善廣殿外16名	一七、〇〇〇円
〔小動〕			
小動	蛭田	昌殿外20名	二一、〇〇〇円
〔講社〕			
寒川神社易友会	澤津	壽道殿	一〇、〇〇〇円
〔匿名〕			
			100名 二七、〇〇〇円

入澤 一三
松本 學
皆川 欽一
青木 誠
高橋竹材店
金子 昭
中島 啓介
前田 隆一
河西工業(株)
日本精麦(株)
下里自動車(株)
(株)藤又
(株)カナリヤ
(有)寒川建材
東木材(株)
(有)田中写真
(株)青葉
青山大寿司
(株)暁運輸
(株)アサヒファーマシー一之宮薬局
アズビル(株) 湘南工場
(有)井上商事
(株)ウスイ植物園
(株)内野不動産
(株)梅屋幸
岡遷(株)
(株)オーカワ
(株)金子建材土木
千寿会 きくの郷
(株)金庫屋商店
(株)グランドラインーマルシゲ
(株)コーメー
小菅 千鳥
(有)サダコ美容室

(株)寒川自動車整備工場
寒川病院
寒川町観光協会
寒川町商工会
(株)サンエーサンクス
湘南信用金庫
昭和興産(株)
神恵苑
大黒屋
瀧川園茶舗
露木生花
戸塚米店
とんかつ水龍
中沢運輸(株)
(株)フルモト
(有)古山看板塗装
(有)ほりむら薬品
豊月堂
村松商事(株)
(株)山上工務店
ヨシカワ商店
(株)アークル
(株)秋江
秋山商事(株) 厚木支店
(株)アクティオ
(株)アイアール
安藤物産(株)
(株)植藤造園
(株)大島寅次郎商店
(有)大角塗装工業
大村紙業(株)
(有)香川第一交通
(株)神奈川中宣

令和2年 例祭献灯者 芳名

(有)カネヤ商会
(株)川合工業所
(株)北岡本店
熊澤酒造(株)
コカコーラ ボトラーズジャパン(株)
(株)さんこうどう
(株)サンユー
(株)ジェイコム湘南・神奈川
(株)シノハラ
(株)湘南
(株)湘南ビューティブライダル
(株)湘南山鉄
鈴木徽章工芸(株)
(株)鈴木製館所
総合警備保障(株) 湘南支社
(株)ダイワ・エム・ティ
(株)竹澤古典建築設計事務所
(株)竹中工務店 横浜支店
(株)永沢興業
長嶋園
中野設計工務(株)
(有)ノブ・リライアブル
(株)長谷川製作所
日立オートモティブシステムズ(株)
人の森(株)
(株)ヒラボウ
(有)平成工業
(有)ボデーショップ 浜名
丸高工業(株)
百崎製菓(株)
山一工業(株)
横浜貨物総合(株)
(株)横浜銀行 茅ヶ崎支店
(株)落雁 諸江屋

(有)青木商事
(株)アクアリング
(株)アクアリンググローバルストラテジー
旭ファイバーグラス(株) 湘南工場
(株)アサヒファシリティズ 横浜支店
(株)阿部
阿部 和彦
(有)今井
今井 章博
浦田 光子
(有)及川工業
柏川 昌和
加藤 俊二
加藤 芳恵
加藤 大丸
加藤 大典
壁島工務店
関東建物(株)
北村工務店
(株)工房えむま
(株)晃和ディスプレイ
さがみ農業協同組合 寒川支店
(有)寒川公衆衛生社
(二社)寒川青年会議所
寒川ロータリークラブ
寒川ローンテニスクラブ
(株)JTB
(株)シテイライフ
柴崎 徹・久恵
(有)鈴野農機
(株)高田
(株)タカトープランナー
田中 雄二
(株)THコーポレーション

日本ロードマーク(株)
のぞみ針灸整骨院
長谷島 征次
(有)破魔矢奉製所
藤沢紙工(株)
フジシロ工業(有)
二見 ミツ子
松井建設(株)東京支店
(株)眞原電工
(株)丸井紙店
(株)三井住友銀行 湘南法人営業部
(有)ミツワ企画
(株)森川製作所
(株)結商会
(株)読売 Palette
ローンシスリーエフ 寒川宮山駅前店
匿名
(順不同・敬称略)



例祭提灯の掲灯

寒川神社商工奉賛会のご案内



ベンチの奉納



浜降祭の広報活動

『歴史』

寒川神社商工奉賛会は、寒川大明神の御神徳をいただき、「営業の繁栄」と「豊かな心のふれあい」の場を求めて共存共栄を図り、神恩に感謝するとともに寒川神社の隆盛に寄与することを目的とした会です。

結成以前は例祭奉祝行事の一環として、地元寒川の商工業者が中心となり献灯の協賛をしておりましたが、その後有志の方が中心となり町内の商工業者に呼びかけを行い、趣旨に賛同した方々によって昭和49年に結成されました。

結成時は地元寒川町の商工業者が大半を占めていましたが、趣旨への賛同者が年々増え、寒川町外の商工業者へと輪は広がり、現在では町内81、町外80の総勢161の皆様が入会されています。

『活動』

例年、9月19日に日々の営業の感謝と繁栄を祈願する「商工祈願祭並献灯奉告祭」が斎行されます。その後、年次総会が開催され、事業説明及び決算予算の報告と審議がされ

主な奉賛事業

昭和59年	提灯用支柱、祭礼提灯の奉納 (会結成10年記念事業)
昭和61年	八方灯籠の奉納 (昭和天皇御即位60年記念事業) ※作:彫刻家 原田純成氏
平成3年	国旗掲揚塔の奉納 (皇紀2650年奉祝記念事業)
平成9年	平安枝垂れ桜の奉納 (人形奉斎殿前) (御社殿御造営奉祝記念事業)
平成16年	幟旗掲揚台、幟旗の奉納 (会結成30年記念事業)
令和元年	ベンチの奉納(神鹿苑内) (天皇陛下御即位奉祝事業)

ます。また総会後には、例祭を奉祝して落語家をお招きして高座が設えられ、巧みな話術に魅了され会場は笑い一色に染まり、大変な盛り上がりを見せています。また国旗の掲揚促進(頒布)運動、浜降祭の広報活動や記念品の企画販売、表参道の提灯取付け、会員研修旅行、会員ゴルフ親睦会などを行っており、今後も当神社の祭事、行事への奉賛活動の一翼を担う会として活動をしていきます。

寒川神社商工奉賛会

会長 清田光男



「結成50年に向けて」

当会のご承知の通り、昭和49年に結成され、寒川神社の諸行事に参加、御奉仕することにより寒川大明神の御神徳をいただき企業繁栄、報恩感謝を目標に掲げています。来るべき令和5年は結成50周年を迎えようとしています。当会は更なる会員の増強を図り、次世代を担う方々を広く募集しています。当神社へお参りの際、お気軽に社務所までお声がけください。

会員募集中

- 商工業を営む方(個人でも入会可能です)
- 寒川町内・町外を問いません
- 年会費 10,000円

※結成50周年に向けて多くの方の入会をお待ちしております

お問合せ先
寒川神社商工奉賛会事務局
電話 0467-75-0004



【開催時期】令和2年11月10日から23日まで

【開催場所】菊花展：境内内庭・馬場
写真展：境内内庭

菊花写真展は、明治改元100年記念事業の一環として昭和43年より開催されており、平成29年には第50回を迎えております。

【菊花展 ご案内】

菊花展は、日本の伝統文化としての菊栽培の技術向上と普及を図り、寒川大明神の御神意をお慰めすることを目的として、湘南地方の10の菊花会にご協力いただき、開催しております。

菊は平安時代より宮中の宴の催しとして流行っていたものが、民衆へと広がり全国各地で発達しました。地方で発達した古典菊には江戸菊や嵯峨菊など様々な種類があり、切花として使用される大輪菊や中輪菊もあります。皇室の紋章としても使用されている日本を代表する植物となっています。

当展示会は、11月上旬に各会にて菊花の搬入を行い、250点以上が出品されます。審査の後、寒川神社宮司賞をはじめとした金賞・銀賞・銅賞・各協賛者賞が決定されます。観賞菊である大菊(厚物・管物)を主に審査対象としていますが、審査対象外となる奉納の菊も多数、展示しています。

- 審査長 遠藤吉和氏 (全日本菊花連盟公認指導員兼審査員)
- 副審査長 高橋正夫氏 (彩胡園園主)
- 出品団体 寒川町菊花会・茅ヶ崎茅秋会・平塚菊花会・藤沢菊花会・綾瀬菊花会
大和秋香会・厚木秋華会・座間市菊友会・伊勢原秋豊会・宿矢名菊花会

【写真展 ご案内】

写真展は、例年、250点以上の作品が応募されます。菊花展と同様に11月初旬に審査され、その中から受賞した作品を含んだ120点が境内内庭に展示されます。題材は「当神社に關係がある祭典や社頭風景」となっており、「寒川神社」という大きなフレームの中に、四季折々の美しい風景を写し込むのが、はたまた人物にスポットをあて、そこに様々な物語を盛り込むのか、テクニックとドラマが融合した作品の数々が見どころです。

なお、展示会場の都合上、展示ができなかった作品は、本年よりホームページで11月10日より公開しますのでご覧ください。

- 審査員 写真家 丹治俊雄氏
 - 審査助手 (有)田中写真
- 展示会にお越しの際は、マスク着用の上、ご鑑賞ください。
また体調のすぐれない方のご来場はご遠慮ください。



写真展 展示

祝 七五三詣

七五三詣は、お子様が無事に成長をしていることを神様に感謝するとともに、これからの成長を願う人生儀礼のひとつです。七五三は古来より行われてきた、剃っていた髪を伸ばし始める「髪置」(3歳男児・女児)、袴を着用し始める「袴着」(5歳男児)、大人と同じ幅の広い帯を結び始める「帯解」(7歳女児)の各儀式に由来するもので、現在も3歳・5歳・7歳の各節目に神社にお参りする「七五三詣」として受け継がれています。祝い歳を迎えられたお子様がいらつしやるご家族様には、当神社にお参りいただき寒川大明神の御神徳をお受けになれますとともに、着付けからお食事・境内散策に至るまで大切な一日をお過ごしいただきたく、ご案内申し上げます。

【期間】

9月19日(土)から11月30日(月)まで ※数量限定
七五三祈禱用の特別授与品をお渡しします

【祈禱料】

五千元以上 紅白の御幣、七五三神札、御守
御神供(お菓子)、落書き帳
クレヨン、折り紙、タオル、巾着袋
一万元以上 五千元の授与品に加えて工作バルーン・絵本

※神札にはお子様のお名前をお書きします
※七五三祈禱についても、郵送の祈禱および御本殿に上がらずに御神札をお持ち帰りいただく方法も受け付けております



七五三期間の下記授与品は10月1日より授与所にて頒布しております ※数量限定



七五三絵馬 500円



子ども破魔矢 500円



幸運鈴 1,000円



御守り置き 各1,000円



《寒川神社参集殿》千歳コース1名7,000円(税別)※御祈禱料は含みません

お食事以外の特典として寒川神社「御朱印帳」、千歳飴、室料サービス、神社まで職員がご案内を致します。

※お子様料理もご用意しております。※着物レンタル、写真撮影も受付しております。

詳しくは寒川神社参集殿まで 電話 0467-75-5555 午前9時から午後6時まで





相模秋の歌



寒川俳壇

炎昼や猫にも会はぬ道歩く
朝顔の蕾の中の明日の色
青春を昭和に生きて秋の夜
母が居てこそ故郷生身魂
峰雲や飯の大盛りなつかしき
よく喋る三人姉妹盆の部屋
好きな物思ひ出して盆用意
一枚は開け置く障子秋の夜
白鷺の一人舞台や大青田
朝顔や医師が勧める深呼吸
月の夜の句会の賞は秋野菜
巢ごもりや絵筆止まりて雲の峰
相席も一期一会のとろろ汁
風一つ青田舞台に乱舞せり

伊藤 公一
菅沼 保幸
宮入 つる
菅沼うめの
石原美枝子
倉谷 節子
竹村真砂美
岩田美代子
飛石 槿花
根岸 君子
露木てる子
猿渡 弥生
松本美智子
新井 泰春

書く度に自信の持てぬ字のありて一字一字を辞書に確かむ
あたたかく迎えてくれる故郷が吾にありたるこの幸せよ
運動の嫌な吾が十年も続くテニスに良き仲間あり
旅先で火災報知機鳴りひびきあわてふためく友達と我
大きい雲小さい雲も動物のかたちに遊ぶ夕焼けの空
清すがし朝五時起床しウォーキング歩く楽しさ喜びとなり
なな色をたししかめ仰ぐ虹のいろ左の端よりうすれてゆけり
カラコロと横断歩道を渡りおる空カンひとつ強風の日に
憲法を学ぶと集う母親の幼な子守る意見飛び交う
嬰兒の曾孫の笑顔無邪気なる吾に頑張る気力をくれる
母よりの百人一首の教えこそ短歌作りする縁となりぬ
心深き思ひを短歌に紡ぎつつ虹のかけ橋織り成しゆかむ
亡き姉の好みし湯呑の六地藏はほえみかけて物云いたげに

安藤 慧
稲垣 武子
亀山 文子
小林 篤子
土屋トミ子
徳江 道子
平澤まさえ
平野 良三
宮治友美枝
山根喜美代
岡元 芳子
杉本 照世
瀧本三重子

【相模詠草】
・野ばら文化会(前身、婦人会学習クラブ「ふだん着の詩歌くらぶ」として昭和34年に誕生)による詠草。公民館まつり・短歌大会等に参加するなど積極的に活動している。
・昭和50年、本誌に初めて「献詠歌」として掲載。昭和53年に相模詠草と改称、以来現在に至るまで生活の中での一瞬を美しい言葉で切り取った詩歌を継続的に投稿いただいている。

奥山医師より ご挨拶

宗教法人寒川神社寒川病院
整形外科副院長・リハビリテーション科医長
奥山裕之

はじめまして、昨年の4月から寒川病院整形外科副院長兼リハビリテーション科医長として赴任致しました奥山裕之と申します。北海道釧路市生まれの旭川市育ちで大学は弘前大学医学部を平成24年に卒業しました。北海道生まれなのですが、物心つく頃から雪が大の苦手であり、より暖かい地域に行きたいと考え、大学卒業後は神奈川県鎌倉市にありまず大船中央病院で初期研修を行いました。初期研修終了後に平成26年から横浜市立大学整形外科に入局し藤沢市民病院、横浜市立大学附属病院の膝・足クリニック、横須賀共済病院、平塚共済病院に赴任させていただきました、ご縁がありまして寒川病院に入職させていただきました。整形外科医としては、これまで外傷や膝関節の加療にあたらせていただくことが多く、膝関節の人工関節などをやってまいりました。寒川病院には、平塚共済病院時代に非常勤職員として2年間勤務させていただいたご縁もあり、平成31年に赴任させていただきました。私事ではありますが、趣味で神社仏閣や城郭を巡らせていただいております、日本で唯一の神社が経営されている病院であり、そのような病院の職員になったことを非常に嬉しく思っております。寒川神社も神奈川県に来た頃から名前には知っており、非常に有名な神社であったにも関わらず、ついこの前まで参拝せずにおりました。

したが、この度ようやく参拝することができました。やはり1600年の歴史を有し、八方除の守護神として格式のある御本殿であり、身の引き締まる思いでありました。整形外科は運動器を治療する診療科であり、その診療領域は骨粗鬆症などの代謝性疾患から頸椎・腰椎などの脊椎領域、手の外科を含めた上肢領域や下肢領域などの大きな括りにおける関節外科領域、関節リウマチなどのリウマチ性疾患、外傷など多岐にわたります。その全てに適切な加療まで施すのは至難ですが、できる限り早期診断と適切な専門医療施設へのご紹介をできるように全力を尽くしてまいりたいと思います。

当院整形外科は平成31年度から常勤の斎藤と奥山の2人体制となり、以前より診療体制は強化されました。今後もこの歴史ある寒川神社を擁する寒川町の地域の医療体制に少しでも貢献できましますように、誠心誠意努力してまいりますので至らない点も多々ございますが宜しくお願い申し上げます。

奥山医師診療担当日						
	月	火	水	木	金	土
午前	○				○	第2・4週(予約のみ)
午後			○			



NEWYORK見聞録

寒川神社 権欄宜 中西正史

第11回(最終回) NYからの帰国

NYから帰国して早8年目となりますが、帰国にあたり取材いただいた新聞記事をご紹介します。

「ニューヨークの真ん中に小さな神社がある。20階建てマンションの最上階。木の床のリビングに神棚を祭り、大願成就の鈴がつり下げられている。国連認証のNGOが2005年2月に開設し、正月三が日は毎年、約800人の初詣客でにぎわう。大みそかのカウントダウン後は特に混み、参拝の列が部屋のドアから廊下の先のエレベーターの前にまで続くという。お屠蘇気分でご出掛けしてみた。この時期は日本人の来訪者が多いとあって、マンションの警備員も手慣れたもの。「シントウ(神道)?」と聞かれて「Yes」と答え、「オメデトウ」との日本語で迎えてくれた。神棚の部屋ではお守りやお札、ちとせ飴を売っていた。米ドルのさい銭も少し妙でおもしろい。窓の外にセントラルパークが見えて、そこだけ切り取れば和洋折衷の風景だ。この神社が今月末で姿を消

す。財政難など多くの理由が重なったという。4代目神主の中西正史さん(35)は「やはり寂しいです」。摩天楼の街から消える小さな「日本」を、多くの在留邦人や留学生が惜しんでいる。おみくじを引くと「吉」だった。そこそこの幸せで十分——という日本人的な控えめさも感じるが、巨大都市の片隅にあったこの神社を考えれば、初詣の記念には十分ふさわしい。(青柳知敏)」

東京新聞「世界の窓から ニューヨーク存続はかなわず」
平成25年1月23日刊



閉鎖直前の事務所風景

今読み返してみても、事務所を閉鎖して帰国する時の寂しさ、日本からはるか離れた地で暮らす同胞の心のよりどころになれなかった申し訳なさを思い出しますが、帰国後に寒川神社に奉職させていただき、ブルックリン植物園との交流や小欄を通じNYと再び接点を持つことができ、本当に有難いと思う今日この頃です。

今NYは、新型コロナウイルス感染症の蔓延や反黒人差別運動で大変な状況ですが、同時多発テロ等数々の試練を乗り越えてきた街がまた平和になって発展していくことを願ってやみません。

今回をもってこのコラムは終了となりますが、またNYで活動する機会がありましたら本紙で報告させていただきます。今までお読み下さった皆様、本当に有難うございました。

10月以降のお知らせ
新型コロナウイルス感染症の影響により10月以降の祭事については、10月1日現在の予定を掲載しております。変更があり次第、ホームページにてご案内致します。

10月 神無月

15日 午前11時 人形感謝祭
17日 午前11時 神嘗奉祝祭

11月 霜月

3日 午前8時30分 明治祭
23日 午前10時 新嘗祭
10日～23日 第53回菊花写真展

12月 師走

14日 午前8時30分 煤拂祭
20日 迎春神話ねぶた設置
31日 午後2時 師走大祓式
並大祓祈願祭並除夜祭
除夜祭後 神徳感謝祭

毎月1日・20日
午前8時30分 月次祭



①師走大祓式 12月31日

知らず知らずの内に犯した罪や穢^{けがれ}を祓い清めて、明年の災難を避けて、家内安全を祈願します。全国の氏子崇敬者が人形を納め、大祓を受けます。



②新嘗祭 11月23日

新穀を御神前に奉献し、五穀豊稔と勤労感謝の誠を捧げる祭典です。

③神嘗奉祝祭 10月17日

神嘗祭は三重県の伊勢の神宮において天照大御神に新穀を奉献する年中最大の収穫祭です。当神社においても神宮を遥拝して、奉祝する祭典を斎行します。



④人形感謝祭 10月15日

人形の日である10月15日に当神社人形奉斎殿にお納めいただいた多くの人形やぬいぐるみに感謝を申し上げ、祓い清める祭典です。

寒川神社・寒川神社参集殿
新型コロナウイルス感染症防止対策の取り組みについて

秋に入りますと気候的に過ごしやすい季節になり、七五三の御祈禱をはじめとして当神社へのご参拝の方が多くなることが予想されます。当神社及び寒川神社参集殿においては、例年通りの御祈禱の御奉仕及び通常営業を致しておりますが、ご参拝、ご来館の皆様のご健康と安全を考慮し、それぞれ施設ごとの感染症予防対策を実施しておりますので、皆様のご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

◆寒川神社 境内における対応◆

- ・境内各所窓口にアクリル板を設置し、飛沫防止対策を実施しております
- ・境内各所への消毒液の設置、不特定多数の方が触れる物への消毒の徹底をしております
- ・授与所、神嶺山神苑は通常通りの対応をしております
- ・御朱印は書置きにて対応しております

◆寒川神社 御祈禱の対応◆

- ・控室は空気清浄器を設置し、換気を行っております
- ・控室における湯茶接遇は行わず、御祈禱時の格衣(白いお召し物)の着用もいたっておりません
- ・御祈禱を受けられる方の人数制限を行っております
- ・郵送による御祈禱を承っております
- ・御神札を御神前に上がらずにお持ち帰りいただく方法を承っております

神社境内各所にアクリル板を設置



参集殿入口にサーマルカメラ設置



◆寒川神社、寒川神社参集殿 職員の対応◆

- ・マスク着用にて対応しております
- ・事務所内においても消毒液を設置して、消毒の徹底をしております
- ・出社前の検温を徹底し、感染が疑われる症状の職員に関しては出勤を控えております

◆寒川神社参集殿 全体の対応◆

- ・参集殿正面玄関にサーマルカメラを設置して入館者の検温を行っております
- ・入場口の制限、混雑時には宴会場を開放するなどの3密防止対策を行っております
- ・不特定多数の方が触れるドアノブやエレベーターボタンなどは適宜に消毒を行っております
- ・各フロアに消毒液を設置し、飛沫防止のため受付に仕切りを設置しております

◆寒川神社参集殿 宴会場の対応◆

- ・規模や人数などを考慮した会場の確保、時間帯別フロア貸しや全館貸し切りにするなどの対応を行っております
- ・会場内のテーブルでは、適度な間隔が確保できるよう椅子を配置し、飛沫防止のためのアクリル板を設置しております
- ・料理の提供は個人盛りとし、テイクアウトの料理もご用意しております

授与品図鑑

当神社では現在、さまざまな神符守札授与品(お札・お守り・おみくじ)を頒布しております。その中から、いくつかの授与品をご紹介します。



「こどもおみくじ」初穂料 100円

おみくじには勉強のこと、身体のこと、友達のことが書かれています。

学校生活での不安解消や願い事を叶えるための手助けとして、「こどもおみくじ」を引いて運勢を占ってみてはいかがでしょうか。

授与所開設時間

毎日8:00～16:30(通常)

10月
～
12月

寒川神社

祭典・行事のご案内

～木札のご紹介～

毎月1日の月次祭にご参列された方にお頒けする木札です。
数に限りはありますが、授与所にて1体2,000円で頒布しております。



相模秋の歌

少年館こども俳句

ミニトマト からすがたべて へただけだ 山下 紗輝

虫かごで ミーミミジジ ツクツクツ 青柳 駿介

ぶどうだな ふさの実いっぱい ぷりぷりだ 後藤 修斗

ひがんばな どくをかくして さいている 園部 梨杏

秋の山 赤黄茶色に ころもがえ 太田 レオ

一生を 楽してるよう 寄生虫 金澤 遥菜



食べ物への感謝



食事の挨拶といえば、食前の「いただきます」と食後の「ごちそうさま(ご馳走様)」です。これは、単に「食べよう」とか「美味しかった」という意味を表す言葉ではありません。食事を作ってくれた人に感謝するのはもちろんですが、日本人にとって「食べ物=神の恵み」であり、それが動物であれ植物であれ、命あるものを食べさせていただくという考えから「神様に対する感謝」が込められているのです。

特に、神社では「食前・食後感謝」というものがあり、そこには「感謝」の意味が多分に含まれています。食前感謝は「たなつもの 百の本草も あまてらす 日の大神のめぐみえてこそ」(食べ物の恵みは太陽の神様である天照大御神さま[伊勢の神宮 内宮の御祭神]のお力のお陰です)、食後感謝は「朝よひに 物くふごとに 豊受の 神のめぐみを 思へ世の人」(食事をするときは食を司る神様である豊受大神さ

ま[伊勢の神宮 外宮の御祭神]に感謝しましょう)と歌います。これはどちらも、江戸時代の国学者 本居宣長が詠んだもので、神社における実習や研修時の食事の際に必ずこの歌を詠みます。

食べることは神様の恵みをいただくことなので、好き嫌いをしたりすることは失礼であり、残すことは命を粗末にしているということです。好き嫌いなく、残さず食べることで、最近話題になっている「食品ロス」を減らすことができ、SDGsの2番目「飢餓をゼロに」(前号に掲載)のゴールに向かっていくことができます。自分の心掛け次第で、世界の誰かを助けることができるなら、とても素敵なことだと思いますか。

どんな小さな命も無駄にせず、感謝の気持ちをきちんと声に出してからいただく食事は、今まで以上に美味しく感じるはずです。

祝祭日には国旗を掲げましょう

相模国 一之宮 寒川神社

次号『相模523号』は令和3年1月1日に発行します



<http://www.samukawajinja.jp>
本誌のバックナンバーは当神社
ホームページよりダウンロードできます。

Official SNS



Youtube・インスタグラム公開中
表紙裏ページからチェック!

JR相模線 宮山駅より徒歩5分 圏央道 寒川北ICより1km

編集後記

ようやく過ごしやすい季節になってきました。今年は世情の騒がしさで春、夏を十分に感じる事ができないまま、秋そして冬へと向かっていきます。秋は実りの季節であり、お米を始めとした収穫の季節です。神社も収穫に感謝する祭典が続きます。近年、日々の生活において、「感謝」することが忘れられているように思います。コロナ禍の現状となり、当たり前のことへの感謝の気持ちを改めて認識させられました。我々も御神前において大神様に感謝の誠を改めてお伝えしていきます。

(俊)